

三田市長 森 哲男 様

子ども医療費の完全無料化・復活を求める署名

長年の市民の願いであった「子ども医療費の中学卒業までの無料化」は、「子育てするならゼッタイ三田」のキャッチフレーズの位置づけとともに、多くの市民、中でも若い世代に大きな希望を与えるものとなり、2015年7月から実施されました。

「お金の心配なく子どもを受診させることができ、重症化をまぬがれた」「医療費の心配なく子育てができ、三田市に引っ越してきてよかった」と多くの保護者からよろこばれ、三田市行政が高く評価されていました。

ところが、「本当に必要とするところに税金を使う」として市は2018年7月より小学校から中学卒業までの医療費を一部有料化(2020年7月からはさらに所得制限以上世帯で負担額が2倍に引き上げへ)へと後退させました。

子ども医療費助成制度を実施している他の自治体の調査では、助成制度拡充により病気の重症化を防ぎ、医療費の増加にはつながらないことが明らかになっています。

少子高齢化となっているからこそ、安心の子育てが保証される社会が必要であり、「義務教育ではお金のあふなしにかかわらず無償化」が実施されているように、どの子の命も等しく尊いものであり、健やかな子どもの成長を支えるために、「子ども医療費の無償化」を再び実施して下さるよう強く要望します。

<要望事項>

中学卒業までの子ども医療費の完全無料化を復活させること。

* 2020年7月から、世帯総収入の年収が概ね700万円台後半から800万円台前半以上の世帯で所得制限が導入されます。

未就学児、低所得者および入院児童生徒はこれまでどおり無料。

あたたかい三田民主市政をつくる会

(取り扱い団体: 日本共産党三田市員会)